

平成31年度 緑区地域活性化支援事業 補助金交付団体一覧

I 地域づくり活動支援コース

No	団体名	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する効果・成果	交付決定額(円)	審査委員会コメント
1	きりん文庫	きりん文庫	・核家族が広がる中、親子共に孤立せず、助け合いながら楽しく子育てしていただけるような場が必要であるため、文庫を開くことで子供たちの生きる力を育むための手伝いをする。	・自宅の一室を親子のための図書館として開放し、地域の子育て世代が集う場として提供する。 毎週木曜日:14:30~16:30 ・就学前から小学生及び保護者向けの図書置き、本の紹介、読み聞かせ、貸し出しを実施する。	代表者の自宅	・子供達が絵本、読み物などを通して豊かな心や多くの知識を自然に身に付けていけるような環境のある地域となることを期待する。 ・子育て世代が交流を深め、様々な面で助け合いながら楽しく生活することができる地域となることを期待する。	120,000	・文庫を開設することにより、子供や子育て世代への居場所を提供し、読書を通じた地域コミュニティの推進に寄与することを評価します。今後、担い手の確保・育成に力を入れることによりメンバーを増やすとともに、活動の充実を図り、地域に根付いていくことを期待します。
2	土気絵本の会	「土気絵本の会」活動事業	・読書ボランティア活動に興味を持って参加してくれる方を増やし、読書推進活動を活発にする。 ・現在、学校等で「絵本の読み聞かせ」や「昔話」を実施している人達のスキルアップを図る。 ・地域の人達を年齢を問わず絵本の世界に誘い、子どもから大人まで楽しめる事を伝える。 ・これまでの活動で会員だけの力の限界を感じ、第一人者の力を借りて今後の活動に繋げる。	・定例会 ・テーマに沿って絵本の世界を楽しむ会。 ・講師を招いての講演会を開催する。 ・小学校、幼稚園等でおはなし会を開催する。	土気公民館 緑区ボランティア活動室	・ボランティアのスキルアップ勉強会で絵本の知識を深め、子どもと本を繋げる活動に関わる人が育ってほしい。 ・地域の高齢者に、絵本の喜びと一緒に味わい、図書館で懐かしい本と出会い、楽しんでほしい。 ・絵本、昔話を通して、読書の喜びを多くの人に伝えたい。	50,000	絵本の読み聞かせを通じた子供の情操教育の推進に寄与しているとともに、地元の施設を活用することにより地域に根付いていることを評価します。今後とも、活動の継続・拡充を図るため、団体のホームページを作成するなど広報活動を充実することを期待します。
3	かかしアート実行委員会	かかしアートまつり	・菅田地域内の子供たちを中心に「かかしアートまつり」を開催し、芸術文化の普及と親子・有志・町内の皆さんとの交流の場とする。 ・地域内の谷津水田の早苗から稲穂の刈り取りの期間中開催し、「かかし」の特徴と自然の背景が移り変わる「アートの感覚」を堪能しつつ、散歩する方々に、話題と散歩活動の活性化と充実を図る。 ・コミュニティの機会を増やし、日常的な見守り活動などのボランティア活動の環境をつくる。	・「かかし」を親子で制作する(菅田小、菅田東小、菅田中美術部、幼稚園、保育園)。 ・「かかし」を設置する(地域内の谷津水田沿いの散歩コース)。 ・散歩コース内のかかしの芸術性を楽しんでもらい、歩く楽しさを提供する。 ・関係者に応援、協力の声掛け、活動を開催し、ボランティア活動の輪を広げる。 ・様々なセミナーや研修会等に参加し、ボランティア活動の知識を高める。	菅田中学校区内	・芸術文化的感性の向上と自然の大切さを感じる機会とする。 ・親子と高齢者が町の中で共に過ごし、日々支え合いの環境を通じ、町の中で健全な話題づくり、散歩活動等の活性化と散歩コースの充実を図る。 ・町内自治会会員の脱退が増え、全世代参加と任意参加項目を認め合い、参加代を率先で、喜び合える支え合うまちづくりの実践。	50,000	地域資源を活かし、親子のコミュニケーション作りを通じた地域の活性化に取り組んでいることを評価します。今後、かかしの制作を評価するノウハウをスタッフ自ら習得できるよう担い手の育成に努めるとともに、地域内の交流を深め、地元への愛着意識の醸成につながることを期待します。
4	放課後カフェ実行委員会	中学生の居場所づくり「放課後カフェ」	・おゆみ野地区では、中学生の居場所づくりの活動はどこにもない。中学生にも居場所があってもいいのではないかと考え、有吉中学校の協力の下、放課後カフェを開催し、学校が終わった後に行くあてのない子や塾などで忙しい子にほっとできる時間を作り、地域の大人と知り合える場所を作る。	・飲み物やお菓子を食べながら、ゲームをやったり漫画を読んだり、自由にくつろげる時間をつくる。	有吉中学校調理室	・地域の人達に中学生の居場所づくり「放課後カフェ」が知れ渡り、ボランティアの人材確保が容易になること。 ・スタッフが生徒と知り合うことにより、地域の中で自然な形で生徒を見守っていくこと。 ・「地域の人」だという応援団が身近にいるんだよというメッセージを、生徒に送り続けること。	25,000	「中学生の居場所づくり」という観点に着目し、学校と連携しながら取り組んでいることを評価します。今後は、居場所の提供にとどまらず、参加者が主体となって地域との交流につながるよう活動内容の充実を努めてください。
5	大木戸台シニア支援の会	見守り・助け合い事業	・大木戸台団地に住む高齢者や障害者が安心して暮らせるために、要望に応じて支援し、住民が自発的に参加して行くことを目的とする。	・買い物支援 ・庭木の刈込・草取り、室内の重量物の移動 ・高齢者や独居者に対する見守り活動 ・住民が集まり、気軽にコミュニケーションをとることができる拠点づくり(団地内の空室を利用) ・ボランティア活動への理解と啓蒙、受け皿となる。	大木戸台団地全域	・安全で安心して住み続けられる町 ・住民が自発的にボランティア活動に参加する町 ・お互い様の気持ちが高まり、住民のふれあいの町 ・清潔で美しい町	200,000	高齢者等のニーズに沿った地域住民の主体的な見守り・助け合い活動に取り組むことを評価します。今後は、地域で活動する他団体との連携を深めるとともに、活動の担い手を広げることにより、他地域のモデルケースとなることを期待します。
6	古民家 宙/そら	古民家 宙/そら再生プロジェクト	・上大和田地域に残る伝統的な田舎づくりの古民家と里山(裏山と畑)の再生を主目的とし、古民家や庭・畑の整備活動を通じて「体験」の場の創出を図るとともに、再生整備の過程を地域の人達や街の子供達とともに楽しみながら体験型ワークショップとして取り入れ、地域の再生を試みる。 ・地域住民への呼び掛けを強化し、ワークショップの講師、または参加者として活動に参加してもらうことにより、地域と密な関係を持った場にしていきたい。	月1回程度、親子を主体とした体験型のワークショップを実施する。 春 裏山整備、畑の開墾整備 → 作物の苗植え、古民家の修繕(玄関、トイレなど) 夏 畑の草むしり、流しそうめん 秋 裏山整備、畑の収穫、秋の食体験 冬 裏山整備、古民家環境整備(障子張り、襖張り、神棚清掃と正月準備)	古民家 宙/そら(上大和田町)	・粗削りなここにはかない古民家と里山の再生過程の体験を通して街から来た子供達が、自然に抱かれ時間を忘れるほどに夢中に創造性あふれる時間の中で欲求を充足し、元気で笑顔あふれる光景を創り出すことと地元活性化のきっかけを創り出します。 ・豊かな自然の中での昔ながらの生活を多くの子供に伝えながら、畑・里山の整備を継続的に地域住民と共にやっていくことにより、空き家だった古民家が地域の拠点として生まれ変わります。これにより、地域住民と街から来た家族連れや里山再生の専門家との関係構築が生まれ、新たなコミュニティを作りだし、地域の活性化に貢献することを目指します。	200,000	里山を含めた古民家の活用による地域の活性化に取り組んでいることを評価します。今後は、地元団体や自治会との連携を図るとともに、地域住民の理解や協力を得られるよう地域との交流を深めることにより新たな地域コミュニティの創生につながることを期待します。
7	生涯大学校 地域活動 外房会	緑区内の特別養護老人施設等ボランティア活動の支援事業	・千葉県生涯大学校を卒業したメンバー13人により、主に社会福祉ボランティア活動の実践を通じて、地域社会活動のリーダーの担い手となることを目的に団体が発足した。	・区内の特別養護老人施設等を訪問して入所者と一緒に歌(季節の童謡や昭和の歌謡曲)を歌うとともに、アルパ(ハーブ)演奏を行う。 ・区内の特別養護老人施設等を訪問して施設内の花壇を管理する活動(花の種まき、植栽、草取り、消毒、施肥など)を行う。	区内の特別養護老人施設等	・特別養護老人施設等に入所・通所している介護者が元気で楽しく老後を過ごしていただくことを期待します。	138,000	福祉施設の入所者とのコミュニケーションを通して、音楽による健康維持・増進に取り組んでいることを評価します。今後は、区民を中心に担い手の拡大に努めるとともに、活動対象が施設入所者にとどまらず、地域での活動に拡大することを期待します。
8	おゆみ野アーカイブ	まるごとおゆみ野	・おゆみ野のまちびらきから30余年経ち、縄文時代の貴重な文化遺産があるにも関わらず、一部のみにしか知られていない。 ・地域を知る手立てとして、おゆみ野の歴史をWEB上に集め、発信することにより、郷土愛を育む。 ・新しく住民となった人たちにとっておゆみ野の今を知る手立てとしての情報を収集・発信し、まちづくりに寄与する。	・「まるごとおゆみ野」のホームページ作成。 ・内容をより良いものにするため、運営委員や地域の活動団体と意見交換を行う。 ・おゆみ野の歴史講座の開催と記録掲載。 ・地域のあらゆる情報発信をする場としての「まるごとおゆみ野」の周知を図る。	おゆみ野地域	・多くの人が住むまちおゆみ野に関心を持ち、まちづくりに寄与する人達が増えることを期待する。 ・ポータルサイトの情報から地域の活動に関心を持ち、参加し、関わりを持つ人達が増えることを期待する。	200,000	地元の歴史を含めた地域に密着した情報の収集・発信に取り組んでいることを評価します。今後は、ホームページへのビジュアルが増えるよう情報提供の充実を努め、より多くの方が地域への興味や関心を持ち、交流が広がることを期待します。



						小計	1,993,000	
--	--	--	--	--	--	----	-----------	--

## II 区テーマ解決支援コース

No	団体名	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する効果・成果	交付決定額 (円)	審査委員会コメント
18	おゆみのボッチャクラブ	ボッチャ体験会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年に開催される東京オリンピックに向けて多くの関心が寄せられている一方で、障害者スポーツへの認知度の低さから、同時に開催されるパラリンピックへの興味、関心が低い現状がある。</li> <li>・障害者スポーツ中級指導員の有資格者を中心に地域に向けボッチャ体験会を開催することを通して普及啓発を行い、障害者スポーツへの興味、関心の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャ審判員の有資格者が規則等の講義をした後に体験会を開催する。</li> <li>①福祉施設の秋祭り開催時</li> <li>②医療機関で実施している健康教室・秋祭り等</li> <li>③シニアリゲータ体操教室開催時(区内8箇所)</li> </ul>	おゆみ野地区内の福祉施設、医療機関、区内シニアリゲータ体操教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子供から高齢者まで多くの人にボッチャの楽しさを知ってもらうことで、障害者スポーツに対して興味を持ってもらい、東京2020年オリンピック・パラリンピックの盛り上がりにつながることを期待する。</li> <li>・障害者スポーツを通じて、障害者に対するの偏見やイメージを変え、障害者が暮らしやすい環境のひとつになることを期待する。</li> </ul>	50,000	区が設定したテーマに沿った啓発活動に取り組んでいることを評価します。今後とも、活動を継続し、ボッチャの普及に努めることにより、多くの区民がバラスーツへの関心や興味を持つきっかけとなり、地域における今後の機運が盛り上がることを期待します。
19	千葉ゴールボールクラブ	ゴールボール普及プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まであと1年半となりますが、市民にとって県内開催競技に接する機会が多いとは言えない状況に加え、パラリンピックに関しては身近に競技している人も少ない状況です。</li> <li>・県内開催パラリンピック競技の中でも誰もが様々な形で参加しやすい「ゴールボール」に着目し、競技の普及活動を通して、多くの方々がパラリンピック競技に親しみを持つきっかけづくりをしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールボールの練習、体験会を中心に活動をしていく中で区民の関心が高まるよう普及活動を行う。</li> <li>①定期的な練習・体験会</li> <li>②情報発信(活動報告、ゴールボールの紹介、ゴールボール関連イベント告知等)</li> <li>③勉強会(歴史、ルール、審判方法)</li> <li>④協力団体への依頼、意見の聞き取り等</li> <li>⑤見学者、協力者、体験者、参加者、メンバーの募集</li> <li>⑥ジャパンハラゴールボール競技大会の応援</li> <li>⑦ゴールボールオフィシャル取得</li> <li>⑧初心者向け大会の出場</li> <li>⑨大会の競技ボランティア</li> </ul>	緑区(メイン)、中央区、四街道市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールボールを通して、地域で障害の有無、年齢に関わらず、楽しい時間を共有できる仲間が増えていくことを期待する。</li> <li>・障害の有無、年齢にかかわらず一人でも多く参加していただき、ゴールボールにはひとりひとりできることがあることを自然に学び、支え合う活動となることを期待する。</li> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピックに市民が希望を抱き、より多くの方が関心を持ち、緑区を中心に全体で盛り上がる機運が高まることを期待する。</li> </ul>	50,000	区が設定したテーマに沿った啓発活動に取り組んでいることを評価します。今後とも、活動を継続し、ゴールボールの普及に努めることにより、多くの区民がバラスーツへの関心や興味を持つきっかけとなり、地域における今後の機運が盛り上がることを期待します。
						小計	100,000	

全コース合計 交付件数 19件 交付決定額 合計 2,093,000